

『忍び足ブルース』 寸評

- ・ タイトル・ 作品の内容・ 編成の三拍子がみごとそろっている
- ・ 油断ならない雰囲気と「忍び足」が絶妙のくみあわせ
- ・ 大さわざしない Drs. が全体をよくまとめている
- ・ 各パートの役割が整理されてとてもみとおしがよい
- ・ 手書き風の楽譜スタイルも内容をよく伝える

完成度をさらに上げるために

- ・ m.1, 3, 12 b.3 16分音符4つをまとめるスラーがほしい
- ・ m.5-6 A.SaxとT.Saxの休符は八分音符二つに分けて
- ・ m.6 b.1-2 ベースが属音でコードが安定しない
- ・ m.2, 13 b.3-4 ドミナントのほうがおさまりがよい
- ・ m.12 b.4 ベース主音は出しおしみてたとえばラにしておく
- ・ m.16 b.4 A.SaxとT.Sax 出せるかどうか奏者をえらぶかも
- ・ m.1 b.4 T.Sax 強烈にコードトーンにぶつかってる
- ・ m.7-8, m.12 b.1-2 もう少しコード付けを整理できないだろうか

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

持磨 勉